

# 「リフトインストラクター」資格制度



より良い介護・医療現場の構築に貢献します!!

現在、日本は福祉・介護人材の確保が喫緊の課題となっています。福祉・介護分野の職場は、他の産業と比較して離職率が高く、人材不足が懸念されています。離職の要因の1つは「腰痛」で、特に社会福祉施設を含めた保健衛生業では、離職理由の7割以上が「腰痛」等の健康問題といわれています。

JASPA リフト関連企業連絡会では、介護リフトを利用した環境改善を行う人材を育成するため、「リフトインストラクター」資格制度を実施しております。この資格を取得した方が、介護・医療現場のリーダーとして「腰痛」等を予防し、従事者の継続的な確保・定着のための活動の中心になって頂きたいと考えています。

## リフトインストラクターとは

JASPA リフト関連企業連絡会が考案した、介護リフトの操作技能を高め、導入・運用に伴う専門性を身に付け、介護・医療現場の改善に役立てて頂くことを目的とした「資格制度」です。

「筆記試験 + 実技試験」で構成されています。

## 受験資格

特別な受験資格はありませんが、下記の方を推奨いたします。

- 福祉施設、医療機関等に所属する職員の方で、介護リフトを積極的に導入し、腰痛予防対策等、環境改善を積極的に推進しようとする方。
- 介護リフト導入を積極的に啓発しようとする、福祉用具専門相談員、製造事業者の方。

## リフトインストラクターの取得メリット (介護施設編)

取得者ご自身のメリット

### スキルアップ

安全安心な移乗方法を習得し、介護従事者としてスキルアップにつながります

取得者ご自身のメリット

### リフト移乗の定着

施設に導入するリフトの選定と、職員に研修を行うことにより施設内でリフトによる移乗が定着します

経営者の方のメリット

### 職員の確保

環境改善による「腰痛予防」を推進、介護・医療従事者の確保と定着が実現します

同僚の方のメリット

### 健康の確保

リフトインストラクターの指導で、「腰痛リスク」が軽減し、健康確保の問題が軽減します

## 受講の流れ

- ① 「リフトインストラクター試験」は通常「リフトリーダー養成研修」と併行に実施しますが、試験のみを単独で実施する場合があります。

※「リフトリーダー養成研修」が開催されても「インストラクター試験」を行わないことがあります。

- ② 試験結果により、合格者には「上級」、「中級」、「初級」が認定されます。

※合格級のアップ、不合格の場合は再受験が可能です。

- ③ リフトインストラクター資格を取得後は、フォローアップ研修などでサポートします。



## リフトリーダー養成研修

公益財団法人テクノエイド協会が実施する、リフト等の使用に関し、事業所等における指導的役割を担う人材(リフトリーダー)の養成を行うことを目的とする研修会。「座学5時間 + 実技約6時間」で構成。

### JASPA (ジャспа)

正式名：日本福祉用具・生活支援用具協会 (Japan Assistive Products Association)  
福祉用具製造メーカーを中心とした団体。福祉用具の JIS・ISO の審議団体として、標準化等の策定や、福祉用具を安全安心に利用いただくための情報発信等を行っている。

### JASPA リフト関連企業連絡会

介護リフトの利用技術を高める講習会や、介護リフトやスリングシートを安全に使用頂くための啓発活動を行っている。介護リフトの製造メーカー、輸入事業者で構成されている。